


人材交流報告書

全国科学館連携協議会

提出日 2020年 2月 日

所 属	盛岡市子ども科学館	氏 名	三浦 圭裕	印	
交流期間 年 月 日	2020年1月21日(火) ～ 1月25日(土)	交 流 先	富山市科学博物館		
目 的	2019年度連携協 人材交流事業				

報 告 事 項

【概要】

- 1月21日(火) オリエンテーション/館内見学/プラネタリウム設備紹介・行事・運営方針/富山大学辻合先生と打ち合わせ/プラネタリウム更新計画・普及事業/ボランティア見学/投影見学
- 22日(水) 立ち上げ2F/収蔵庫見学/番組制作/友の会紹介/ボランティア制度紹介/学習投影実演
学習投影検討会/企画展・ロビー展紹介
- 23日(木) 立ち上げ2F/プラネタリウム実写映像見学/流星刀と白萩隕石の紹介/学習投影の概要・
方針の説明/アウトリーチ活動/オーバード・ホールとの打ち合わせ/北信越ブロック事例紹介
/情報交換会
- 24日(金) 連携協北信越ブロック施設見学/ワンダーラボの見学/プラネタリウム映像編集等の実習・
意見交換等/
- 25日(土) 立ち上げ3F/収蔵庫見学/サイエンスライブ準備・見学・実施/星空観察会紹介/天文意見
交換/研修のまとめ

【詳細】

○収蔵庫を含む館内の見学, また各分野専門学芸員による解説

自然と理工の広い分野の学芸員スタッフが対応。48万点の収蔵物。平成19年展示室リニューアル(プラネタリウムは21年)。展示室内, 漫画イラストによる解説文で統一されている。中でも私は「水」の展示が目についた。形にするのが難しい水を展示している。水は自然を作る要素になっている。

分野ごとの収蔵庫では, 担当者が整理, 採取や寄贈受け入れと, 研究を進めている。この膨大な収蔵物が論文の情報へとつながることもある。

○館の歴史や役割, 制度紹介

40年の歴史。収集保管・調査研究・展示・普及, この4つの事業があげられる。

制度では友の会とボランティアがある。友の会はコアなファンをつくることに対して, ボランティアは館の裏方・活動をサポートしたい人が集まる。

報 告 事 項

○展示・イベント見学, 実施

年間で特別展や企画展(年8~10回), 小企画展「ロビー展」(10回くらい), 野外行事等を実施。実施中の展示を見学。ロビー展(干支:子)の担当者がすべて取りまとめ統一感を持たせた。特別展以外は予算がほとんどなく, 他施設から借りるなどの工夫をしている。

最終日にサイエンスライブの実演。身近な化石を探す話。建造物のタイル(大理石)などを使用した。

○プラネタリウム投影や制作における意見交換

一般投影や映像番組, 学習・幼児番組の見学。中でも幼児番組は自作のオート番組。イラストや音源(連携先からの紹介による声優)など館内で用意し, プログラムする。コンサート用の動画素材も自分たちで撮影・編集を行う。当館と投映システムが近いため, お互いにプログラムの工夫などの話をした。

○連携協北信越ブロック会議・施設見学

福井県児童科学館の事例紹介。北陸電力雷センター・消防防災センターの見学。懇親会で出会ったワンダーラボの所長さんのお誘いでワンダーラボ見学。工作の体験。

【所感等】

収蔵庫を見せていただき, 施設の規模をあらためて実感いたしました。長い歴史に専門の学芸員, そして市民への普及・認知度の高さと, とても立派な館でした。当館が「同じ規模のところ」と紹介される場面もあり, 少し恥ずかしいところもありました。

ボランティア見学では, 元気なお年寄りたちに圧倒されました。年々高齢化が進み, スタッフからは心配の声もありました。当館で活動をお願いしている観望会ボランティアもそのような心配があります。(ブロック会議の懇親会で, 未来館でも高齢化の問題があると伺いました。)全国的な問題になっているようです。

展示やイベントに関してのお金の問題は工夫で補う, このことにはとても共感いたしました。

プラネタリウムに関する意見交換では, お互いに情報を出し合いスキルアップへとつながるものだったと思います。制作スキルの高さに驚かされました。

連携協北信越ブロック関連では, 会議以外でも, 懇親会やバスの移動などで他の館の状況を伺うことなどができました。なかなか聞くことのできない内部の声は, 自分たちの励みにもなり, 嬉しかったです。

【全体を通して】

今回の研修では, 5日間を通して, 各館の違いについて考えることのできる良い機会でした。

様々な分野の学芸員の方々と毎回違う講習を組んでいただき, 富山の館の歴史や経緯, 目的, その方の意見やアイデアなどを聞くことができました。このことは大変参考になりました。

館内での見学では, リニューアルによる様々な展示の仕方やアイデアを学ぶことができました。きっと当館でも実施できるものがあると思います。ぜひ参考にさせていただきたいです。

この度は多くのことを学ぶことができる貴重な機会を与えてくださり, ありがとうございます。

以上